

作成日：2010年11月16日

更新日：2026年8月6日

Ver5.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：スプレーマン

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名：株式会社アグリマート

住所：〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル

TEL. 03-5159-1711, FAX. 03-5159-1712

e-mail: agm-info@agrimart.co.jp

推奨用途及び使用上の制限：不快害虫用殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康有害性

高圧ガス

生殖毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

液化ガス

区分2

区分2（中枢神経系）

区分3（麻酔作用）

区分2（中枢神経系、呼吸器、消化管）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）

区分1

水生環境有害性 長期（慢性）

区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素 絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

警告

高圧ガス：熱すると爆発のおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

眠気又はめまいのおそれ

中枢神経系の障害のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、消化管の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手しよく読んでから使用すること。
- 定められた使用方法を厳守すること。使用時は屋内で必ず容器を直立させること。

- 熱／火花／裸火／高温のものなど着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を 29℃以上にしないこと。直射日光を避け、換気の良い場所で使用・保管すること。
- ミスト、蒸気の吸入をしないことまたは避けること。屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 取扱後には手をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 人体に向かって噴霧しないこと。作業者及び作業場所に入る者は必ず保護具（推奨マスクとゴーグル、長袖の作業衣、手袋等）を着用し、ばく露を避けること。
- 環境への排出を避けること。

【応急措置】

- 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合は、本品がピレスロイド様殺虫剤及びアセトンであることを医師に告げ、診断／手当を受けること。
- 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。
- 直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。29℃以下に保つこと。

【廃棄】

- 使用済み容器は速やかに返却すること。勝手に廃棄しないこと。
- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特になし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名（一般名）：

1) 2 - (4 - エトキシフェニル) - 2 - メチルプロピル=3 - フェノキシベンジルエーテル（エトフェンプロックス）

成分及び含有量：

成分名	含有量 (w/w)	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
エトフェンプロックス	1.0%	80844-07-1	4-(14)-178	(3)-3981
アセトン	5.0%	67-64-1	—	(2)-542
二酸化炭素（液化炭酸ガス）	94.0%	124-38-9	—	(1)-169
＜その他＞				

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移動する。呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、気道を確保したうえで人工呼吸（又は酸素吸入）を行う。身体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。付着部を水又は微温湯で洗い流しながら石けんを使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には速やかに医師の手当てを受ける。凍傷の場合には衣類を脱がせないで接触部を温湯で十分温め、直ちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。意識の無い時には口から何も与えてはな

らない。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：周囲の火災に対して適切な消火剤（粉末、泡沫、炭酸ガス、水）を選定して使用する。

使ってはならない消火剤：情報無し。

特定の危険有害性：容器は火災によって熱せられると安全弁が破裂し、内容ガスが流出し、エトフェンプロックス及びアセトンが燃焼して高温により有害ガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法：移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。容器、周囲の設備などに散水して冷却する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護：消火作業の際は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、白煙がなくなるまで十分に換気を行う。飛沫の皮膚付着やミスト・ガスの吸入を避けるため適切な保護具を着用する。風下の人を避難させ、風上から作業する。本品は空気より重く低い場所に滞留し高濃度になりやすいので特に注意する。

環境に対する注意事項：漏出物を河川や下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出物を取り除く時はウエス等で漏出箇所を覆い吸着させる。回収に使用したウエス等は火気のない屋外にしばらく放置し、アセトンを気化除去後、洗剤と水でよく洗う。付近の着火源を速やかに取り除く。漏出箇所より低い場所（地下室、ピット等）への立ち入りは酸素濃度を測定し安全確認後とする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：保護具（防じんマスク、ゴーグル、保護手袋、長袖の作業衣）を着用し、換気に注意する。使用は必ず容器を立てて行う（横にすると安定した組成のガスが得られない）。局所排気内又は全体換気設備のある場所で取り扱う。火気、高温物の使用は禁止する。29℃以下に保って使用する。転倒、転落その他乱暴な取り扱いをしない。

保管：容器は29℃以下の換気の良い冷暗所に保管する。直射日光を避け、火気・熱源から遠ざける。転倒、転落、衝撃を防止する処置を講ずる。保管・輸送・移動時は容器バルブ保護用キャップを取り付けておく。高温になる車内に長時間放置しない。食物、飼料等と離し、無関係者・子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置を設置する。取扱い作業場の近くに洗眼、うがい、手洗い、安全シャワー設備を設置する。

管理濃度：アセトン 500ppm、エトフェンプロックス 未設定、二酸化炭素 未設定

許容濃度：

アセトン 日本産業衛生学会：200ppm (475mg/m³) / ACGIH：TLV-TWA 500ppm、STEL 750ppm

エトフェンプロックス 日本産業衛生学会：3mg/m³

二酸化炭素 日本産業衛生学会：TLV-TWA 5000ppm、STEL 9000mg/m³

保護具

呼吸用保護具：保護マスク、防毒マスク（有毒ガス用）

目の保護具：保護眼鏡、ゴーグル、保護面

手の保護具：不浸透性のゴム手袋

皮膚及び身体の保護具：長袖の保護衣（不浸透性、静電気防止服）、エプロン

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液化ガス（高圧ガス容器入りの液体）／噴射ガスは白色煙霧状

色：無色透明

臭い：アセトン臭

融点/凝固点：データ無し

沸点又は初留点及び沸点範囲：データ無し

可燃性：分類できない（不明）

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データ無し
 引火点：データ無し
 自然発火点：常温で空気と接触しても自然発火しない
 分解温度：データ無し
 pH：データ無し
 動粘性率：データ無し
 溶解度：データ無し
 n-オクタノール/水分配係数：データ無し
 蒸気圧：データ無し
 密度及び/又は相対密度：データ無し
 相対ガス密度：データ無し
 粒子特性：データ無し
 粘度：データ無し

10. 安定性及び反応性

反応性：特記すべき反応性はない。
 化学的安定性：通常の取扱い条件では安定。ただし急速に放出した場合、ドライアイスの発生や配管中の錆・水分等により静電気が発生し、局所的に可燃性混合気体を形成した場合、着火することがある。容器温度が 29℃以上では液化二酸化炭素とアセトン・エトフェンブロックスが相分離し、エトフェンブロックス・アセトン溶液が噴射される。
 危険有害反応可能性：データ無し。
 避けるべき条件：容器温度を 29℃以上にしてはならない。
 混触危険物：データ無し。
 危険有害な分解生成物：燃焼したとき有害ガス（一酸化炭素）を発生するおそれがある。

11. 有害性情報

（混合物としての分類結果。NITE-Gmiccs による。）
 急性経口毒性：区分に該当しない（ATEmix≒7,759mg/kg。毒性未知成分 94%含有）
 急性経皮毒性：区分に該当しない（ATEmix≒8,365mg/kg）
 急性吸入毒性（蒸気）：区分に該当しない（ATEmix≒593,960ppm）
 急性吸入毒性（粉じん、ミスト）：区分に該当しない（ATEmix≒588mg/L）
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：区分に該当しない
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分に該当しない
 呼吸器感作性：分類できない
 皮膚感作性：区分に該当しない
 生殖細胞変異原性：分類できない
 発がん性：分類できない
 生殖毒性：区分 2（アセトン 5%≧3%）
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2（中枢神経系）、区分 3（麻酔作用）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（中枢神経系、呼吸器、消化管）
 誤えん有害性：分類できない
 （参考：成分別）エトフェンブロックス 経口 LD50>42,880mg/kg（ラット）、経皮 LD50>2,140mg/kg（ラット）、吸入 LC50>5.9mg/L/4H（ラット）。発がん性・生殖毒性試験で有意な影響なし。
 アセトン 経口 LD50>5,000mg/kg（ラット）、経皮 LD50>5,000mg/kg（ウサギ）。発がん性 ACGIH A4。二酸化炭素 単純窒息性・麻酔作用。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：区分 1
 水生環境有害性（長期間）：区分 1（主にエトフェンブロックスによる）
 生態毒性：エトフェンブロックス コイ LC50(96H)0.141mg/L、オオミジンコ EC50(48H)3.66μg/L、藻類 ErC50(0-72H)>150mg/L。
 残留性・分解性：データ無し（エトフェンブロックスは急速分解性：無）。
 生体蓄積性：データ無し。
 土壌中への移動性：データ無し。
 オゾン層への有害性：分類できない。

13. 廃棄上の注意

残ガスはそのまま返却する。やむを得ず廃棄する場合は換気に注意しながら少量ずつウエス等に放出吸収させ、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して

処理する。空容器は速やかに返却する。勝手に廃棄しない。残薬及び洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

14. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号：1058

品名(国連輸送名)：LIQUEFIED GASES, non-flammable, charged with carbon dioxide

国連分類：2.2

海洋汚染物質：(水生環境有害性 区分1のため該当要否を確認)

輸送の特定の安全対策：車両の見えやすい所に「高圧ガス」の標識を掲げる。充填容器は温度 40℃以下に保つ。転倒・転落等による衝撃及びバルブの損傷を防止する処置を講じ、粗暴な取り扱いはしない。容器は運転席に載せない。運搬時は必ず容器のバルブ保護キャップを取り付ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条・施行令第 18 条)：アセトン(規則別表第 2 の 58)、エトフェンプロックス(同 286)、二酸化炭素(同 1463)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2・施行令第 18 条の 2)：上記 3 成分

有機溶剤中毒予防規則(第 2 種有機溶剤等)：アセトン

施行令別表第 1 危険物(引火性の物)：アセトン

酸素欠乏症等予防規則：二酸化炭素

化学物質排出把握管理促進法(化管法)：第一種指定化学物質(管理番号 64、政令番号 1-085)：エトフェンプロックス(1%)

化審法(官報公示整理番号)：エトフェンプロックス(3)-3981、アセトン(2)-542、二酸化炭素(1)-169

高圧ガス保安法：一般高圧ガス保安規則、容器保安規則等

消防法：危険物 第 4 類 引火性液体 第一石油類(アセトン)

大気汚染防止法：揮発性有機化合物(VOC)(アセトン)

毒物及び劇物取締法：該当せず

航空法：施行規則第 194 条 危険物告示別表第 1(高圧ガス)

船舶安全法：危規則第 2, 3 条 危険物告示別表第 1(高圧ガス)

港則法：施行規則第 12 条 危険物告示(高圧ガス)

道路法：施行令第 19 条の 13(車両の通行の制限)

16. その他の情報

引用文献

JIS Z 7252：2025、GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253：2025、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

NITE 化学物質総合情報提供システム(独)製品評価技術基盤機構

NITE-Gmics GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム(独)製品評価技術基盤機構

化学物質情報検索支援システム(環境省)

職場の安全サイト(厚労省)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。